

# こぶしの風

第18号 平成28年5月10日発行

発行：社会福祉法人信濃こぶし会

広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1

電話(0265)35-8511 FAX(0265)35-9016

URL <http://kobushikai.or.jp/>

E-mail [kobushi@dia.janis.or.jp](mailto:kobushi@dia.janis.or.jp)

(題字：アイビス スイート舞音さん)



春の幸せがいっぱい!

すけっと：イチゴ狩り(記事6ページ)

## 目次

平成28年度重点方針	2P
第2回法人研修会 肢体不自由者への支援を学ぶ	3P
今年は第二こぶし園へ3名入園	3P
ぼっぼへ車椅子が寄贈されました	3P
春が来た 行事がいっぱい	4・5P
短大実習生来園 細きよすが	6P
イチゴ狩り ぼっぼあーと展について	6P
保護者の広場 利用者さんの横顔	7P
職員の素顔 職員の動き 編集後記	8P



こいのぼり 作：ヘルパーステーション 熊谷一星さん

安心して暮らせる地域をつくるために

### 平成28年度重点方針

# ユアサポートぽっぽを改築

理事長 片桐 秀人

- 1、「ユアサポートぽっぽ」の建物建設
- 2、職員およびパート職員のシフトの透明性・公平性・雇用の安定性向上の調整
- 3、第三者評価の実施
- 4、社会福祉法人の「公益事業」の実施

今年度は上記の4点に重点をおいて運営して行きたいと考えています。

1は、国の平成27年度補正予算で補助金交付が決定し、来年3月末までに完成すべく現在詳細設計を行なっています。面積500平方メートル、工事費1億数千円を見込んでいます。

2は、一部に労基法の基準を超える労働が見られること、パート職員について複数の職場に関係する

職員が多いことから、シフト体制の見直しを行い、透明性・公平性・雇用の安定を目指していきます。

3は、前回実施から4年経過しているため、未実施の事業について実施していきます。

4は、昨年成立した「社会福祉事業法」に明記された法人の公益事業を行う責務について検討してきましたが、高齢化社会のなかで現在信濃こぶし会が受託している独居高齢者の安否確認と、一般廃棄物のリサイクルステーションの事業を中心にして公益的の事業を模索していきたいと考えています。



## 拠点施設2棟が完成

昨年11月より、喬木にあるグループホームいちよのの前に建設されていた一戸建て住宅2棟が、3月に完成しました。2棟のうち道路側（北側）の住宅がヘルパーステーションの拠点となる「ハートスペース小川」、南側がグループホームの活動拠点となる



「パワーすぽと」です。それぞれキッチン・リビング・個室3部屋・浴室があり、4月1日

より稼働開始しました。夕方見守りや休日支援等で利用しています。



今まで拠点となる場所が無く個々に行動されていた利用者さん同士が交流できる場となったり、バーベキューや料理をしたり、お出かけのあと疲れたらゆっくり休めたりと使い方もいろいろ！今後ショートステイとして



の活用もできたらと考えています。

気軽に・気楽に・気兼ねなく多くの皆さんに利用してもらえスペースにしていきたいと思ひます。

## こぶし園に新車2台

この度、中央競馬馬主社会福祉財団、日本財団と2つの団体様より福祉車両の助成をいただき、スズキキャリー（軽ダンプ）とホンダステップワゴンを購入しました。軽ダンプ車は畑作業や薪を載せて運ぶ『はたらく車』として、ステップワゴンは利用者さんを安全に送迎する『やさしい車』として活躍しています。

安全祈願式では、こぶし神社の神主さんが登場し、「かけまくも〜ゆきかい、やすらげく……」と祝詞をあげ安全を祈願しました。交通ルールを守り大切にに使わせていただきたいと思います。

第2回法人研修会

障がい者の人権中心に  
講師は鈴木文治さん

研修委員会では今年度2回目の法人研修会を、3月5日に豊丘村保健センターで開催しました。当日の参加者は62人で、講師には昨年もお世話になった田園調布学園大学教授の鈴木文治さんをお願いし、「人権尊重の介助のあり方」と題して約2時間の講義をしていただきました。

講義の中で先生は「人権尊重は心の持ちようでは解決しない。組織でやらなければ解決しない」とし、支援に当たっては常に本人を中心に据え、本人が何を訴えているのか正しく受けとめることが大切で、障がいの程度は違って必ずその人なりのサインを出しているはず。その小さな反応やサインを見

抜くこと、聞き分けること、読み取る努力をすることが人権尊重の支援だと話しました。



また、昨今世間を騒がせている虐待についても話していただき、虐待を防止するには、閉鎖しがちの施設を開くこと、ボランティアを育成すること、支援員のストレスを解消することが大切だと教えていただきました。

講義の最後は「生まれてきて良かったと思えるように」とまとめ、今回も支援の基本を再確認した研修会となりました。



肢体不自由者への支援を学ぶ

グースでは、4月7日に肢体不自由者の支援の仕方についての研修会を行いました。



グース・パドルダック・アイビス・すけっとのスタッフや保護者など大勢の方々が今回の研修に参加してくれました。

飯田市福祉課の塚原茂樹理学療法士をお招きし、普段ご利用いただいている5名の利用者さんの協力のもと、「正しい抱き方、移乗の仕方、送迎車への移乗の仕方」についてレクチャーしていただきました。

研修の中で、「自らの意志で動く」感覚を感じて貰えるような支援が、利用者さん自身の成長に繋がるといってお話を受け、移乗ひとつにせよ、利用者さんがいろいろな感覚を学ぶ場でもある事だと気付かされました。より良い支援を目指して行きたいです。

今年は第二こぶし園へ3名入園

4月1日に、こぶし園・第二こぶし園の入園式が行われ、飯田養護学校を卒業された3名の方が第二こぶし園へ入園されました。これにより、今年はこぶし園31名、第二こぶし園34名で事業がスタートし

ました。

入園式には保護者の方や飯田養護学校の先生も出席され、あいさつや励ましの言葉を述べられました。社会人一年生の出発の日でかなり緊張されていたようですが、早く新しい生活に慣れ、“元気”なこぶし園・第二こぶし園の一員として活躍してほしいと思います。



3月初旬、ぼっぼに車椅子が寄贈されました。寄付をしてくださったのは、富国生命松本支店様です。社会貢献のためにと職員の方々がワンコイン運動をしており、毎年募ったお金で車椅子を購入し、様々な福祉施設に寄付をしておられるとのことでした。



ぼっぼは、利用者さんの年齢に関係なく、身体面のサポートに車椅子は欠かせないものとなってきており、今回の寄付は大変嬉しいものでした。

寄贈式には、さっそく乗り心地を確認する嬉しそうな利用者さんの姿がありました。

グース **卒業・進級  
お祝いパーティー**



**卒業生から一言!**

グースの春休み恒例のイベントとして、卒業・進級お祝いパーティーを行いました。

前日から利用者さん・スタッフでグース内の飾り付けをしてすでにパーティーモード♪当日はスタッフ手作りのご馳走プレートを食べながらみんなでお祝いをしました。

パーティーの合間に宝探しゲームをしたり、ケーキを食べたり、プロジェクターを使ってのDVD鑑賞をしたりとみんなで楽しみました。

また、卒業生がいきものがかりの『sakura』と校歌を、在校生やスタッフに向けて歌ってくれました。堂々と歌っている姿に思わず目頭が熱くなりました。みんな日々成長している事を改めて感じました。

新たなスタートを切るとても良いイベントになりました。

**春が来た!**

グース **美博で星座を鑑賞**

春休み、グースでは飯田市美術博物館へプラネタリウム鑑賞に行ってきました。室内が真っ暗になっても利用者さんは全く平気な様子で、天井に映し出された綺麗な星々にうっとり。飯田市の桜についてのお話や星にまつわる物語に、利用者さんは目をキラキラと輝かせながら見て聴いて楽しんで鑑賞をしていました。

また、別の日にはイチゴ狩りにも行ってきました。取り方を管理人さんに教えて貰い、いざイチゴ狩り! 美味しそうなイチゴを見つけては「ぱくんっ」と一口♪「(甘くて)おいしいね♪」と利用者さんからは自然と笑顔があふれていました。暖かい陽気の中、沢山の真っ赤に実ったイチゴ達に囲まれ、春の到来を感じる良いイベントになりました。



**バレンタインは手作りチョコ**



2月12日、少し早目のバレンタインデー。手作りチョコレートに挑戦しました。女性の利用者さんたちでチョコを刻んだり、湯せんにかけて溶かしたり、飾りをちりばめたり…。最後は冷蔵庫で冷やして出来上がり。おやつの時間にいただきましたが、男性の皆さんはとても良い笑顔でした。

**ホワイトデーはプリンでお返し**

3月11日、ぽっぽではホワイトデーということで、男性の利用者さんを中心に、プリン作りをしました。スタッフと一緒に手際よく作る姿は、とても格好良かったです。バレンタインデーのお返しは美味しいプリンでした。



ぽっぽ **与田切公園でお花見昼食会**



4月12日、お花見昼食会で、飯島の与田切公園に行きました。桜の花はピークを少し過ぎていましたが、場所によってはまだまだ綺麗に咲いている所もありました。また、花桃も見頃でしっかりと春の花を満喫できました。

きれいな景色と、すがすがしい天気の中で食べるお昼のお弁当は、とても美味しかったです。帰りには豊丘のてっぺん公園へ立ち寄りしました。その名のおり高い場所で景色が一望でき、お城のお殿様になった様な気分を味わってきました。

# 行事がいっぱい

## アイビス 初めてのバス遠足



ドキドキするね!

3月12日に、アイビスでは小学生の利用者さんを中心に、こぶし園のマイクロバスをお借りして恵那峡

ワンダーランドへ出かけました。持ってきたお小遣いの中で、どれだけ遊具に乗るか、いくら昼食代にするか、スタッフが相談にのりながら利用者さんがお金の計画を立て、友達やスタッフと一緒にアトラクションを楽しみました。

「これ乗ったら、お昼代少なくなる?じゃあ、やめとこうかな」「たくさん乗りたいからお昼は安いのにする!」など、様々な声が聞かれました。園内では利用者さんの笑顔が溢れ、遊具から手を振る姿もありました。バスの中も賑やかで話し声が絶えることはなく、楽しい遠足になりました。

## はぴねす 駒ヶ根で食事会

グループホームはぴねすに入居してから2年、グループホームに慣れ、自立と共に外出希望が多くなり、「男子会がしたい!」と大盛り上がり。外出計画を何度も検討しながら、4月16日駒ヶ根方面へ出かけました。

毎日売り切れの「盛屋のパン」を事前予約しておいて購入。お昼は一番の目的の「はま寿司」で横の人が取る寿司やサイドメニューをチラリ気にしながら、時にはまねて同じ物を食べ、普段口にならないお皿にもトライしました。帰りは「かんでんぱぱ」でゼリーのデザート。家族で行く外食とは違う男同士の、そして同居人とのグルメな楽しい時間を過ごすことができました。



## こぶし園 第二こぶし園 鎌倉徳雄さん今年も 鯛とハマチの海鮮盛り

鎌倉さんは、毎年この時期に、80食以上の本格的な和食を食材持ち込みで提供してくださっています。今年は春の伊勢志摩の「サクラ鯛」や「ハマチ」などの海の幸をふんだんに使った「海鮮盛り」をメインに、地元の山菜を食材とした「釜めし」などを提供してくださいました。今回で14回目となり、顔なじみの利用者さんにとっても毎年のお楽しみ行事となっています。



## 人事異動をお知らせします

( ) 内は適用日

**【退職】** グース 村澤梢 (2/16) 宮澤めぐみ (2/29) 佐藤泉 (3/31) こぶし園 川口 範子 (3/31) 第二こぶし園 濱田美穂子 荒木秀平 (3/31) グース 大平陽子 (4/30)

**【新採用】** グース指導員 加藤雅也 グループホーム生活支援員 市瀬絵里 (3/1) 本部事務員 市澤恵奈 (4/1) グループホーム世話人兼生活支援員 大内春子 同、久保田利恵 同 壬生亜紀 (5/1)

**【正規採用】** 4月1日付 グース児童発達支援管理責任者 越野俊子 ヘルパーステーション小川 サービス提供責任者 春日恵子 第二こぶし園生活支援員 湯浅香里 グース指導員 加藤雅也

**【異動】** 4月1日付 (旧任) 喬木事業所事務員 久保田富子 (本部事務員) グループホーム主任世話人兼生活支援員 小石峯初子 (世話人兼生活支援員) 同世話人兼生活支援員 大澤ヒサ子 (主任世話人兼生活支援員)

# こぶし園 第二こぶし園 短大実習生来園



こぶし園・第二こぶし園には、毎年3月に飯田女子短期大学より職場実習生が来園

されます。今回は6名の方が第二こぶし園の農芸班と薪班に入ってくださいました。

一日の始まり朝の会では、実習生の自己紹介と利用者さんの紹介をして、お互いの名前を覚えていただきました。いつもと違った雰囲気、利用者さんは元気いっぱい楽しそうでした。

朝会が終わると、それぞれの作業現場へ向かい、楽しい会話をしながら作業は黙々と頑張りました。休憩時には会話はずみ、いつも以上に活気にあ



## すけっと 車イスに乗ってイチゴ狩り

この春すけっとの利用者さんが、イチゴ狩りに出かけました。

利用者さんは気管切開、人工呼吸器使用、吸引、また体温調節がうまくできず熱がこもったり、低くなったりと外出するのが大変な皆さんです。親御さんは病院、学校、療育センターへ行くだけでも、前準備と本人の体調を整えることで苦労されていて、ご家族での外出はそう簡単にできることではありません。

でも喬木には春の香りいっぱいのイチゴがあります。昨年、車いすの方でも移動しやすいようにと、株と株の間を広くしてくれているイチゴ園さんを紹介して頂いたので、今年は皆さんをお誘いし、パドルダックと、すけっとの利用者さん、合わせて10組の家族が何日かに分かれてイチゴ狩りを楽しみました。

口から食べられなくても甘い香り、赤いイチゴを



また体温調節がうまくできず熱がこもったり、低くなったりと外出するのが大変な皆さんです。親御さんは病院、学校、療育

## 細きよすが 第6報

### 「ザク切りりんごじゃむ」づくり

隠れたすごい人気の「ザク切りりんごじゃむ」は、ざく切りリンゴを小池農産加工場さんへ納めて加工してでき上がります。

もちろんざく切りするのはこぶし園の仕事です。冬から春にかけてのお仕事に最適。このジャムを購入された他県の方から「こんなおいしいジャムは初めて」といううれしい電話をいただいたこともありますので、皆さんも是非ともご賞味ください。



ふれ、作業にも意欲的に取り組んでいました。実習生の皆さんも、わからない事をそのままにせず前向きに、一日を通して支援に積極的に取り組んでくださり、とてもありがたく思いました。最後は涙・ナミダのお疲れ様会。来年も必ず来てくださいね！

感じて家族みんなで過ごす貴重な時間になりました。兄弟姉妹、お母さん、お父さんはおなか一杯になるまで食べ、他のご家族と交流もでき、「こんな機会が出来るとは思わなかった。嬉しい！」と喜んでおられました。お土産のイチゴは家でジャムになり、香りと共に思い出が広がったことと思います。



### ぽっぽあーと展について

今年度も、4月の喬木村椋鳩十記念図書館ギャラリーでの作品展から始まり、5月は飯田市美術博物館市民ギャラリーで、あーと展を開催しました。

「書」でのあーと展を始めて7年目となります。大きな会場の時もありますし、小さなギャラリーだったり喫茶スペースだったり、その時の雰囲気に合わせて展示させていただいています。陶芸、折り紙、オブジェなどの作品も飾り、「書」を引き立てています。

作品展をすることで、色々な場所に出掛け、色々な方と出会い、ぽっぽのことを知ってもらいきっかけにもなっています。今年もどんな出会いがあるのか楽しみです。6月はゆいま〜る、7月はあさぎり茶屋にて開催が予定されています。お気軽にお出掛けください。



# パドルダック初の卒園式 矢澤龍一さん (母:広美さん)

気が付けば早いもので、パドルさんにお世話になって4年も経っていました。今は、だいぶ落ち着いた日々を過ごしていますが、お世話になる前は少しでも離れると泣いて泣いて一日中おんぶや抱っここの毎日でした。

そんな時パドルさんに行くことになり、少しずつ親と離れ、いろいろな人達に会い、いろいろな場所に行くようになって龍一にも笑顔や楽しみが増え、妹が生まれた頃にはちよっぴりお兄さんになっていました。

龍一にとってパドルさんは家以外で安心できる場所になっていたようです。そんな幸せな子供の顔を見られるのは親として何よりも嬉しいことです。

そして、今回は保育園に通っていなかった龍一のためにパドルさんが卒園式をしてくださいました。

小さかった頃の写真のDVD、手作りの卒園証書、パドルのみなさんとの食事会。思い出



話やこれからの学校生活のことなどいろいろと話し合えてとても嬉しかったです。

今年小学校1年生になりましたが、パドルさんとの4年間は我が家の宝物です。

これからの学校生活も何かとたくさんお世話になると思いますが、我が家の安心の場としてかわりはありませんので、よろしく願いいたします。

## 利用者さんの横顔

### 第二こぶし園

おおさわ みつのり  
大澤 光範さん



光範さんは、第二こぶし園へ登園することを、とても楽しみにしています。土曜日や日曜日、長い連休の時には、早くから登園する準備をしているとか… (\*^\_^\*)

毎日明るく元気に登園される姿に、職員・利用者さんをはじめ多くの方が元気をもらっています。また、作業面では「マキ班」に所属し、率先して薪配達・薪運び・ペットボトルの分別作業に取り組んでいて、後輩たちの良いお手本となっています。

そんな光範さんの園での楽しみは、毎日お昼休みに見るパソコンです。最近は獅子舞や韓流ドラマ・「はたらくくるま」などの動画鑑賞にハマリ、いつも嬉しそうに観ています(^\_-)☆

### ぽっぽ

さけもと すみお  
酒本 住夫さん



#### 【酒本さんにインタビュー】

Q ぽっぽでやっていることは？

A 「箱折りだよ。底の箱折りは難しいけど、他は大丈夫だ。いいよ。」

Q ぽっぽで楽しいことは？

A 「Mさん、Yさん（利用者さん）と、ワイワイやってることだな。それが楽しいよ。」

Q これからの希望や夢は？

A じっくり考えて…「健康以外にないな。」

ぽっぽに通い始めて7年が経ちました。今年の4月で8年目に突入した酒本さん。ぽっぽでは、先輩として頼もしい存在となっています。受託作業の箱折りを仕事として頑張ってくれている半面、利用者さんとも楽しそうにお喋りをして、マイペースに過ごされています。また、新しいスタッフが入った時は、送迎中に色々な道を教えてくれるので、知らず知らずのうちに土地に詳しくなっています。(笑)

## 職員の素顔

### 第二こぶし園

壬生 千菊  
(看護師)



第二こぶし園で看護師をさせて頂いています壬生です。

片桐理事長に声を掛けて頂き、経験をいかしながら少しだけでもお手伝いできればと気楽な気持ちでお引き受けしてから四年になろうとしています。

「どこを向いても知らないことばかり」「難しい福祉の社会」「今までの経験が役にたつのか?」と、戸惑うことばかりで落ち込む毎日でしたが、優しい職員の皆さん、笑顔で接してくれる利用者さんに支えられ、何とか本日まで過ごしてこられました。

これからも、職員の皆さんと一緒にあって、利用者さんが病気にかかることなく元気に快適に過ごせますよう微力ながらお手伝いできたらと思っています。ご指導よろしくお願い申し上げます。

### ぽっぱ

大原 美恵子  
(生活支援員)



お笑い好きということではないのですが「ボケとツッコミ」のリズミカルな切りかえしが心地良く感じ、日々周りでボケてくれる人に「辛口なツッコミ」を入れる事に喜びを感じています。おかげさまでこの職場にも、私にツッコミを入れるチャンスを下さる方が必ずいらっしゃいます(笑) この楽しみが労働のエネルギー補給にと転換しております…お礼申し上げます。

年々変化している自身の体内時計は、現在、AM7時～PM6時。朝のうちにやらなくてはいけない家事などを優先し、夕方は体力の限界と戦いながら「のそらん×2」と体を動かして庭の草取りをしています。体力・気力ともに長続きするようにと「げん」を担いで何十年かぶりに髪を伸ばしました。洗髪が大変なので近々、散髪してしまおうかと思いますが…

## 職員の動き



グース  
指導員  
加藤 雅也

3月よりグースでお世話になっております。学生時代にパドルダックで学生スタッフのボランティアに参加した事がきっかけで放課後等デイサービスを知り、こういった仕事をしたいと思うようになりました。福祉の仕事は初めてで知識も経験も浅いですが、沢山のスタッフさんや利用者さん達と出会い、そこから色々な事を学び、支援に活かしていけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



パドルダック  
支援員  
河合 和枝

認知症を患った父の介護を機に福祉の世界に飛び込んで20年、高齢者デイサービス、訪問介護、障がい者就労施設と様々な形で福祉に関わってきました。縁あって昨年よりパドルダックにお世話になっております。放課後等デイサービスは初めてなので利用者さん達に教えられることばかりです。

これからは今までに得たことや経験を活かし、利用者さんの自立への手助けができればと思います。



第二こぶし園  
事務員  
市瀬 尚子

1月より「第二こぶし園」で事務員としてお世話になっております。福祉施設で働くのは初めてで、不安でいっぱいでしたが、第二こぶし園は、とにかく明るい！そして暖かい！ひとり一人を尊重し合い、認め合い、助け合う素敵なオアシスでした。そんな第二こぶし園の一員になれたことに感謝し、先輩職員を見習って、利用者さんが安心して過ごせるお手伝いできればと日々努めて参ります。



先日、ご近所への配布物があり、いつもなら車を使ってしまおうけれど、天気が良かったので歩いて回ることに。近所でも日頃あまり通らないところを歩いてみると新たな気づきや驚きもあり「歩くのもいいなあ」と、気持ちよく1時間ほど散歩して帰ると足がだるい。最近運動不足だとわかっていただけけれど…。さわやかな季節。心と体の健康のため少しずつ歩こうと思います。  
(ヘルパーステーション 春日恵子)